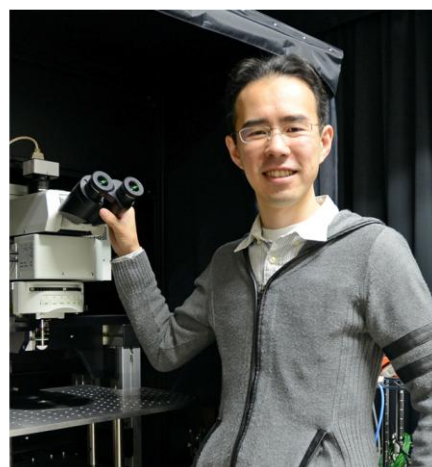
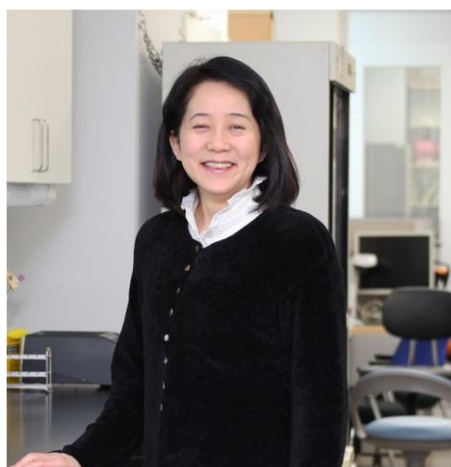


高橋政代プロジェクトリーダー、今井猛チームリーダーらが文部科学大臣表彰を受賞

2015年4月17日

科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者を表彰する「科学技術分野の文部科学大臣表彰」の表彰式が、4月15日に文部科学省で行われた。理研 CDB の高橋政代プロジェクトリーダー、万代道子副プロジェクトリーダー、森永千佳子研究員、坂井徳子テクニカルスタッフ、山田千佳子テクニカルスタッフ（いずれも網膜再生医療研究開発プロジェクト）は、「多能性幹細胞由来網膜色素上皮移植の臨床開発」の成果が認められ、科学技術賞（開発部門）を受賞。この賞は、社会経済や国民生活の発展向上等に寄与し、実際に利活用されている、または今後利活用が期待される画期的な研究開発を行った研究者に贈られるものだ。

また、今井猛チームリーダー（感覚神経回路形成研究チーム）は、萌芽的な研究、独創的視点に立った研究等、高度な研究開発能力を示す顕著な研究業績をあげた 40 歳未満の若手研究者に贈られる若手科学者賞を受賞。「嗅覚系をモデルとした神経回路形成の研究」の業績が評価された。



高橋政代プロジェクトリーダー（左）と、今井猛チームリーダー（右）